

一般質問

宮田 均

(無所属)

定数条例と職員数の今後は

問 今後の職員定数の考え方と条例改正の時期は。

答 厳しい財政状況から採用は専門職を除き凍結している。条例定数は定員適正化計画により、状況を見極め判断する。

問 組織人数の考え方と方向性は。

答 効率的・効果的な行政運営を図るため、事務事業や組織機構の見直しにより、部・課・係の統廃合、事業の民間委託等により、組織体制を築いている。



市民窓口風景

窓口業務の時間延長は

問 窓口業務時間延長。民間委託の考えは。

答 緊急的に電話等で交付手続きが生じた場合、18時頃まで対応している。守秘義務等の観点から、民間委託の考えは無い。

児童生徒の体力づくりは

問 全国体力・運動能力、習慣等調査と富良野市の現状は。

答 平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査については、小規模校を中心に小学校では9校中4校、中学校では7校中3校が調査に参加。調査対象の小学5年生で15%、中学2年生では5%の参加率であった。参加者が少ないことから体力状況を把握できるデータにならないものと考ええる。

問 体力向上への取り組みは。

答 平成21年度においては、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を全校で実施し、児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣を把握し、学校における体育・健康に関する指導等に役立て、体力向上に努める。

岡本 俊

(市民連合)

開業医の誘致条例は

問 富良野市は地域医療体制の機軸は病診連携である。医療体制を維持・拡大を図るためにはセンター病院医師確保と新規開業医も重要である。地域医療の後退を防ぐ政策として開業医誘致条例を設置すべきである。

答 地域医療体制の維持・拡大は、本市並びに富良野圏域にとっても大きな課題であり、病診連携を図るうえでも重要であると認識している。厳しい環境を踏まえ、地域センター病院の医師確保が最優先の課題と考えており、富良野医師会・地域センター病院・富良野沿線町村長とともに要請している。

学童保育センターは

問 緑町学童保育センターの狭隘解消に向けた取り組み対応と安全対策について。

答 臨時職員を配置して、安全・安心を確保している。今後も

臨時職員を配置し、安全の確保に努める。緩和策として居住区の近くの学童保育センターへの申し込み定員がオーバーした場合調整をさせていただく案内をしている。



狭隘の緑町学童保育センター

農村観光都市形成は

問 農産生産地・観光地責任として安心・安全プラス地球温暖化防止、CO₂削減対策の取り組みを発信すべきではないか。

答 環境リサイクルの取り組み、農業者による地球温暖化やCO₂削減、農業残渣の有効活用など市民の取り組みを魅力ある資源として、ふらのブランドの向上に結び付けて行きたいと考えている。